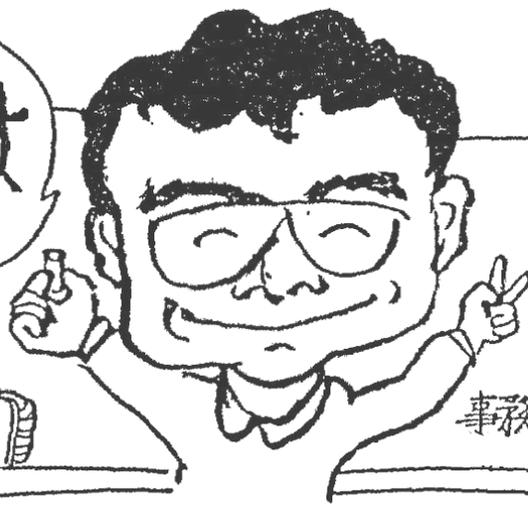


こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2018年8月26日 NO.986



きらとみひこ

吉良富彦です

事務所

吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街
議会控室 823-9524 県議会内

ブルーインパルス飛行 基地の市では中止!

● 8月9日、よさこい祭り前夜祭花火開始の直前、航空自衛隊ブルーインパルス展示飛行・曲技飛行が行われた。本県は米軍機が相次ぎ墜落し、県議会は全会一致で米軍低空飛行訓練中止を決議しているのに、である。

● 今年1月、航空自衛隊小牧基地周辺住民は、人口密集地上空での「曲技飛行」は航空法違反だと前小牧基地司令等を刑事告発。基地周辺の2市1町（小牧市、春日井市、豊山町）の首長が展示飛行に反対し署名運動もなされ、3年続いた展示飛行は中止になっている。

● 奈良県でも、空自衛隊奈良基地で16年11月の「ブルーインパルス」飛行は、航空法の曲技飛行等禁止及び最低安全高度以下の飛行禁止に違反だと、今年3月1日告発、地検が受理。

● 高知県平和委員会も6月12日、県や市に中止要請している。

県議会決議の主旨に反する危険な飛行訓練であり、しかもこの時期、展示飛行に回す軍事費は、西日本豪雨災害被災者に回す事こそなされるべきで、断じて容認できない。

(3) 【総合】 2018年7月31日(火曜日)

過労死家族の姿を胸に

駆ける

参院選挙区候補

吉良 よし子 現

【東京=改選数6】



きら佳子(よしこ) 1982年高知県生まれ。2013年に東京選挙区で初当選。総務委員を経て、現在、文教科学委員、憲法審査会委員、決算委員。

ブラック企業をなくし、働く人を守るルールの確立を、東京選挙区で日本共産党の議席を引き続き勝ち取るため、各地で訴えています。

自身も就職氷河期で苦しみました。低賃金・長時間労働など労働者の命と暮らしを壊す「ブラック」な働かせ方を变えたいと政治家に。違法を繰り返すブラック企業名の公表を安倍首相に直接迫った結果、公表を実現させました。「働き方改革」法をめぐり、6月の参議院で、国が残業代ゼロの高度プロフェッショナル制度の対象業務の一つに挙げている金融アナリストの働き方が、18時間も拘束される実態を独自調査で告発。過労死家族の会のみなさんと法案廃案を求め、宣伝に立ちま

した。NHKで過労死した佐戸未和さんの母・恵美子さんと対話。未和さんが5年前の参院選で吉良氏を取材し、「吉良さんのことは、未和のノート

にいっぱい書いていた」と知りました。吉良氏は、こうし「私たちが決してあきらめない」と語る家族の姿に「私もあきらめない」と決意を固め、高プロ廃止や月45時間の残業時間規制、インターバル制度の義務化など「いのちを大切に作る働き方」を提案しています。

財務事務次官のセクハラ問題で、6野党共同で「#MeToo」の言葉を掲げて財務省に抗議。被害者の泣き寝入りが大抵の現状を変えるため、セクハラ禁止を法律に明記するよう国会で迫りました。

羽田空港増便による都心低空飛行問題、築地市場移転問題、住民追い出しの特定整備路線見直しなどでも都民とともに行動し、声を届け、国をただしてきました。「今の政治を変える、その先頭に立つ」と都内を駆け回っています。

参院選挙に向け頑張っています(^^) /